

第1号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策計画書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 104-0053  
 住 所 東京都中央区晴海1-8-8晴海 トリツスクエア7棟19階  
 氏 名 東洋埠頭株式会社 取締役社長 原 匡史  
 (代理人)取締役執行役員 印  
 川崎支店長 西 修一  
 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第9条第1項(同条第4項において読み替えて準用する場合を含む。)の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	東洋埠頭株式会社		
主たる事務所又は 事業所の所在地	川崎市川崎区扇町13-1		
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/>	規則第4条第1号該当事業者	
	<input type="checkbox"/>	規則第4条第2号該当事業者	
	<input type="checkbox"/>	規則第4条第3号該当事業者	
	<input type="checkbox"/>	規則第4条第4号該当事業者	
	<input type="checkbox"/>	上記以外の事業者(任意提出事業者)	
主たる事業 の業種	大分類	H	運輸業, 郵便業
	中分類	47	倉庫業
主たる事業 の内容	倉庫業・港湾運送業		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/>	原油換算エネルギー使用量	4,238 k l
	<input type="checkbox"/>	自動車の台数	台
	<input type="checkbox"/>	エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量	t-CO <sub>2</sub>
連絡先	担当部署	担当部署名	管理部庶務課
		所在地	川崎市川崎区扇町13番1
	電話番号		044-355-5661
	FAX番号		044-333-5770
	メールアドレス		
※受付欄		※特記事項	※事業者番号

(第2面)

計 画 期 間	平成28年度 ~ 平成30年度
温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
備 考	当社の環境への取り組みについては、ホームページにて紹介しております。 <a href="http://www.toyofuto.co.jp/company/company_csr.html">http://www.toyofuto.co.jp/company/company_csr.html</a>

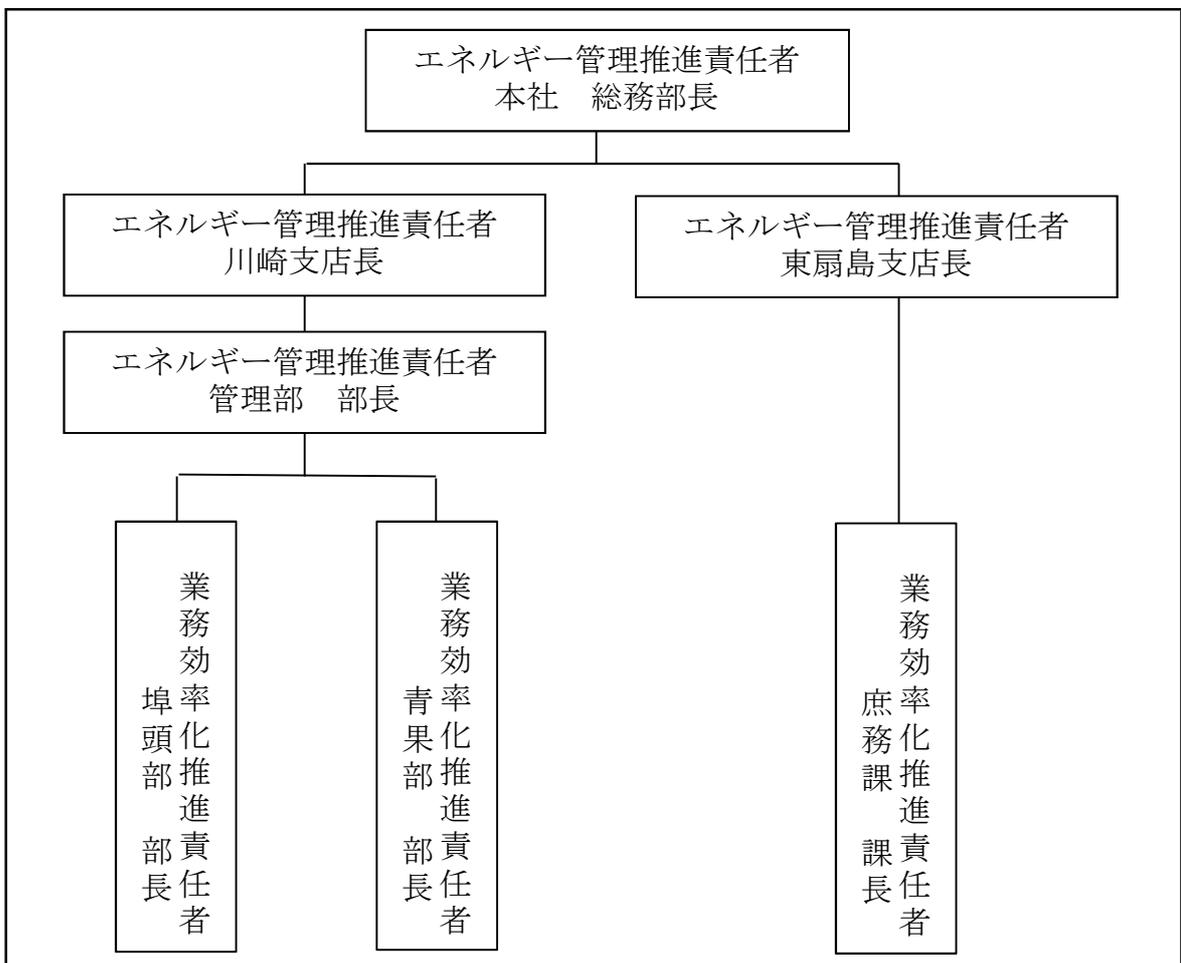
- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
- 2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
- 3 計画書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
- 4 ※印の欄は記入しないでください。
- 5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

### 事業活動地球温暖化対策計画

#### 1 温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針

- (1) 環境関連法規を遵守し、環境保全に努める。
- (2) 電気や燃料などのエネルギー使用効率向上を図り、省エネルギーを推進する。
  - ①所有管理している変電所、クレーン、貨物搬送設備、空気調和機、冷凍設備、照明設備の使用に対し、管理標準による運用を行う。
  - ②グリーン調達（環境配慮型の製品、省エネルギー機器）に努める。
  - ③法令に従った廃棄物の適正な処理を行い、廃棄物による環境破壊の防止に努める。
- (3) 本方針を達成する為、目標及び具体的な取り組み、内容を設定し、その進捗状況を監視する。
- (4) 本方針を実施し、維持すると共に従業員にこれを周知させる。

#### 2 温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制



3 温室効果ガスの排出の量の削減目標等 (第1号、第2号、第4号該当者等)

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量

ア 基準排出量と目標排出量

基準年度	平成27年度	目標年度	平成30年度
基準排出量	(実) 8,785 (調) 8,647 t-CO <sub>2</sub>	目標排出量	(実) 8,697 t-CO <sub>2</sub>
削減率	(実) 1.0 %	削減量	(実) 88 t-CO <sub>2</sub>

イ 基準排出量原単位等と目標排出量原単位等

原単位の活動量	—	単 位	—
基準年度の値	100.0	目標年度の値	99.00
削減率	1.0 %		
延床面積、生産数量以外の原単位を使用した場合の理由	取り扱う貨物の種類により数量あたりのエネルギー使用量が異なる為、合計値として寄与度 (%) を採用している。		

ウ 目標設定に関する考え方

<p>温室効果ガス排出量を削減する為、目標年度(平成30年度)までに排出量原単位で1%削減することを目標に設定した。 (取扱数量の増減が排出量に影響するため、排出量原単位を目標値と捉える。)</p> <p>○川崎支店 機器の更新時期に合わせてエネルギー効率の優れた設備へ更新すると共に、操業状況に応じた設備へ改修することで運転効率の合理化を図る。又、施設、設備の保全管理を実施することで、機器効率の低下を防止する。</p> <p>○東扇島支店 機器の更新時期に合わせてエネルギー効率の優れた設備へ更新すると共に、扉の開閉管理、照明の点灯区画を管理することで過剰な電力使用を抑制し、温室効果ガスの排出量を削減する。</p>
--

(2) 温室効果ガスの排出の量の削減目標 (全社目標)

無し
----

5 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の内容

<p>事業所等に係る温室効果ガスの排出の量の削減を達成するための具体的措置</p> <p>(第 1 号、第 2 号、第 4 号該当者等)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○冷凍機の効率管理 運転中の成績係数 (COP) の適正管理</li> <li>○空気調和設備の新設、更新等における措置 冷凍機の更新時期に合わせ、インバーター制御の冷凍機へ更新する。</li> <li>○照明設備の新設、更新等における措置 照明器具の更新に合わせ、省エネルギー型設備を導入する。</li> </ul>
<p>自動車に係る温室効果ガスの排出の量の削減を達成するための具体的措置</p> <p>(第 3 号該当者等)</p>	

(2) 再生可能エネルギー源等の利用計画及び前年度末における利用実績

ア 再生可能エネルギー源等の利用に係る考え方

無し
----

イ 再生可能エネルギー源等の利用計画及び利用実績

設備等の種類	概要(規模、導入場所、性能等)	導入年度	備考

ウ 再生可能エネルギー源等の価値の保有計画及び保有実績

種類	概要(規模、場所等)	保有年度	備考

(3) 基準年度の末日までに完了した主な対策内容

<p>省エネルギー設備の導入については、基準年度以前から積極的な取り組みを行っている。具体的には、平成25年度以降、次のような取り組みを実施している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○構内道路照明を12台高効率型へ変更した。(平成25年度)</li> <li>○青果物倉庫の空調設備をインバータ制御式に変更した。(平成25・26・27年度)</li> <li>○受変電設備(100, 200, 300KVA)を高効率型に更新した。(平成25年度)</li> <li>○グリーン経営認証制度の更新(平成26年度)</li> </ul>
--

6 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項

無し

7 その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項

- ・ エコマーク製品などを優先的に購入する。
- ・ 分別回収ボックスを設置し分別回収に努める。

8 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績

(1) 事業者単位

ア 第 1 号、第 2 号、第 4 号該当者等

(実)	8,785	t-CO <sub>2</sub>
(調)	8,647	

イ 第 3 号該当者等

(実)		t-CO <sub>2</sub>
(調)		

(2) 事業所等単位 (第 1 号、第 2 号該当者等)

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500k<sub>l</sub> 以上の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
川崎支店	川崎市川崎区扇町13番1号	4711	倉庫業	5,999 t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500k<sub>l</sub> 以上 1,500k<sub>l</sub> 未満の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
東扇島支店	川崎市川崎区東扇島27番地1	4721	冷蔵倉庫業	2,786 t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>

ウ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500k<sub>l</sub> 未満の事業所の一覧

エネルギー使用量の規模	事業所数
400~500k <sub>l</sub> 未満	
300~400k <sub>l</sub> 未満	
200~300k <sub>l</sub> 未満	
100~200k <sub>l</sub> 未満	
100k <sub>l</sub> 未満	

(3) 事業所等単位 (第 4 号該当者等)

ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量 (二酸化炭素換算) が 3,000 t 以上 (二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。) の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO <sub>2</sub>

イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量 (二酸化炭素換算) が 3,000 t 未満 (二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。) の事業所の数

事業所数	
------	--